

1 出願

学期開始前(6月~8月)に出願および科目の登録を行います。(出願は所属大学等で取りまとめます。出願の時期に関しては所属大学等の事務局にお問い合わせください。)

2 印刷教材の送付

放送授業科目には、すべて印刷教材(テキスト)が用意されており、放送授業の視聴と印刷教材による学習を併せて進めます。

3 放送授業 10/1(月)~1/20(日)

放送授業にはテレビ科目とラジオ科目があります。いずれの科目も、授業は1回45分の放送が15回で、学期ごとに完結します。

視聴方法は、放送による視聴の他、インターネット、学習センター、所属大学等複数あります。(視聴方法については、本リーフレット中面参照)

4 通信指導 【提出締切り】11/30(金)

学期途中に1回、一定の範囲で出題されます。郵送またはインターネットで答案を放送大学に提出し、添削結果により単位認定試験の受験資格が得られます。

5 単位認定試験 【試験期間】1/24(木)~1/31(木)

15回の放送授業が終了した後、所属する学習センター・サテライトスペースで全国一斉に実施されます。

6 単位認定

試験の結果、所属大学等において単位の認定を行います。

放送大学は、日本全国津々浦々。

全国 57ヶ所のキャンパスであなたの学びをサポートします。



●放送大学についてのお問い合わせ

放送大学【教養学部】

放送大学本部 〒261-8586 千葉県美浜区若葉2-11
Tel : 043-276-5111(総合受付)
放送大学ホームページ <http://www.ouj.ac.jp>

インターネット配信

BS

radiko.jp

いろいろ、あるぞ。放送大学。

放送大学
単位互換ガイド

ただいま平成24年度第2学期学生募集中!

放送大学で取得した単位をあなたの大学等の単位にすることが可能です。

放送大学との単位互換については所属大学等の事務局にお問い合わせ下さい。

放送授業期間

平成24年10月1日(月)~平成25年1月20日(日)

単位認定試験

平成25年1月24日(木)~平成25年1月31日(木)

放送大学の学習システム

授業は、テレビ・ラジオ等での映像・音声の視聴による「放送授業」と、「印刷教材(テキスト)による学習」をあわせて行います。(放送授業の視聴方法については、本リーフレット中面をご覧ください。)

また、学期途中に一回、一定の範囲で出題される「通信指導」の解答提出があります。



放送大学で、可能性の扉、開きませんか??

自分の大学にはない分野について学んでみたい

他大学の授業を受けることで広い考え方や見方を身につけたい

自分の専攻を深めたい

いろいろな可能性にチャレンジしてみたい

あなたの幅広い関心と興味に応じて、あなただけの学びの世界を拓けてください。

受講方法は、十人十色

- 放送大学の受講モデル例
- 決まった時間にテレビ・ラジオでの受講
 - テレビ・ラジオを録画・録音して受講
 - インターネットで24時間いつでも受講
 - 所属大学等で、授業の空き時間に受講
- 所属大学での授業／アルバイト／サークル活動など、自身の予定と組み合わせながら、計画的に学ぶことができ、修得した単位を所属大学の単位とすることができます。

平成24年度放送大学(教養学部)開設授業科目一覧 (掲載科目は全て2単位になります。)

放送大学(教養学部)では、自分の目的別にさまざまな分野の科目が学べます。
 なお、履修可能な科目については、所属大学等の事務局にお問い合わせ下さい。

| 基礎科目 | 共通科目 | 専門科目 | 専門科目 | 専門科目 |
|---|--|--|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ● 生活とリスク(07) R ● 健康と社会(11) R ● かしくなる患者学(07) R ● 運動と健康(09) TV ● 教育と心理の巨人たち(10) R ● 心理と教育を学ぶために(12) R ● 市民と社会を生かすために(09) R ● 市民と社会を知るために(08) R ● 市民と社会を考えるために(11) R ● 問題解決の進め方(12) TV ● 情報の世界(10) TV ● 哲学への誘い(08) R ● 歴史と人間(08) TV ● コミュニケーション論序説(07) R ● 日本語からたどる文化(11) TV ● 日本語表現法(07) R ● アジアと漢学文化(09) TV ● 世界の名作を読む(11) R ● 「ひと学」への招待(12) R ● 自然を理解するために(12) TV ● 科学的探究の方法(11) TV ● 初歩からの生物学(08) TV ● 初歩からの物理学(12) TV ● 初歩からの化学(12) TV ● 身近な気象学(10) TV ● 初歩からの数学(12) TV ● 身近な統計(12) TV ● 基礎からの英文法(09) R ● 発音をめぐる冒険(12) TV | <ul style="list-style-type: none"> ● 社会福祉入門(12) TV ● 現代の生活問題(11) R ● 社会調査(09) TV ● 社会統計学入門(12) R ● 社会学入門(10) TV ● 経済学入門(08) R ● 市民社会と法(12) R ● 日本国憲法(05) TV ● 政治学入門(12) R ● 経営学入門(12) R ● 社会のなかの会計(12) TV ● 多様化時代の労働(10) R ● 技術者倫理(09) TV ● 技術経営の考え方(11) R ● 社会と知的財産(08) TV <p>● 一般科目(自然系)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 疾病の成立と回復促進(11) TV ● 人体の構造と機能(12) TV ● 疾病の回復を促進する薬(07) TV ● 情報科学の基礎(07) TV ● 生物圏の科学(12) TV ● 物理の世界(11) TV ● 基礎化学(11) TV ● 宇宙を読み解く(09) TV ● 宇宙観の歴史と科学(08) TV ● 惑星地球の進化(07) TV ● 微分と積分(10) TV ● 入門線型代数(09) TV ● 解析入門(08) TV <p>● 外国語科目</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 英語読誦(08) R ● 実践英語(10) TV ● 英語圏の言語と文化(11) R ● ドイツ語入門I(11) TV ● ドイツ語入門II(11) TV ● フランス語入門I(12) R ● フランス語入門II(12) R ● 中国語入門I(10) TV ● 中国語入門II(10) TV ● スペイン語入門I(07) R ● スペイン語入門II(07) R ● 韓国語入門I(12) TV ● 韓国語入門II(12) R ● 日本語基礎A(06) TV ● 日本語基礎B(07) TV ● 初歩のアラビア語(11) TV <p>● 生活と福祉</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 生活知と科学知(09) TV ● 家族のストレスとサポート(08) R ● 人口減少社会のライフスタイル(11) TV ● ものとして、心としての衣服(11) R ● 食と健康(12) TV ● 食品の安全性を考える(08) R | <ul style="list-style-type: none"> ● 失敗予防の住まい学(09) TV ● 住まい論(10) TV ● 公衆衛生(09) R ● 循環器病の健康科学(11) TV ● 感染症と生体防御(08) R ● リハビリテーション(07) R ● 今日のメンタルヘルス(11) R ● 看護学概説(10) R ● 基礎看護学(10) TV ● 在宅看護論(11) TV ● 子どもの生活と児童福祉(11) R ● 高齢者の生活保障(11) TV ● 障がいと共に暮らす(09) TV ● 地域福祉の展開(10) TV ● 社会保険の現代的課題(12) R ● アジアの社会福祉(10) R ● 欧米の社会福祉の歴史と展望(11) TV <p>● 心理と教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 現代の生涯学習(12) R ● 地域社会の教育的再編(12) TV ● 家庭教育論(12) R ● 児童・生徒指導の理論と実践(11) TV ● 乳幼児の保育と教育(11) R ● 現代の教育改革と教育行政(10) R ● 学校と法(12) TV ● 子ども・若者の文化と教育(11) R ● 授業研究と学習過程(10) R ● 道徳教育論(09) R ● 特別支援教育基礎論(11) R ● 特別支援教育総論(11) R ● 知的障害教育総論(10) TV ● 認知神経科学(12) TV ● 乳幼児心理学(12) TV ● 交通心理学(12) TV ● 心理統計法(11) TV ● 比較行動学(11) R ● 心理学史(10) TV ● 心理学研究法(08) R ● 認知科学の展開(08) TV ● 記憶の心理学(08) TV ● 心の健康と病理(08) R ● 保育カウンセリング(08) R ● 思春期・青年期の心理臨床(09) R ● 心理カウンセリング序説(09) R ● スクールカウンセリング(10) TV ● 心理臨床とイメージ(10) TV ● 乳幼児・児童の心理臨床(11) TV ● 精神分析とユング心理学(11) R ● 肢体不自由児の教育(10) TV <p>● 社会と産業</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 都市社会の社会学(12) R ● 現代都市とコミュニティ(10) TV ● 社会と銀行(10) TV ● 現代経済学(09) TV ● 労働経済(12) TV | <ul style="list-style-type: none"> ● 日本経済史(12) R ● 財政学(10) TV ● 現代の犯罪と刑罰(09) R ● 現代環境法の諸相(09) TV ● 市民生活と裁判(12) TV ● 企業・消費者・政府と法(11) R ● 市民生活の財産法(06) TV ● 行政法(12) R ● 著作権法概説(10) R ● 西洋政治理論の伝統(09) R ● 現代南アジアの政治(12) TV ● 現代の国際政治(08) TV ● 現代行政学(12) R ● 現代日本の政治(11) TV ● 日本政治外交史(07) TV ● 現代東アジアの政治と社会(10) R ● マーケティング論(08) R ● 国際経営(09) R ● 管理会計(10) R ● 初級簿記(10) R ● ファイナンス入門(12) TV ● ケースで学ぶ現代経営学(12) TV ● 官民の人的資源論(09) TV ● 組織運営と内部監査(09) TV ● NPOマネジメント(11) R ● アグリビジネスの新たな展開(10) R ● グローバル化と日本のものづくり(11) TV ● 社会技術概論(12) TV ● 物質・材料工学と社会(11) TV ● バイオテクノロジーと社会(09) TV ● 産業とデザイン(12) TV ● 都市と防災(08) TV ● 環境デザイン論(09) TV <p>● 人間と文化</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 日本の思想(08) R ● 実存と現象学の哲学(09) R ● 心理学研究法(10) R ● 現代哲学への挑戦(11) R ● 日本美術史(08) TV ● 現代日本社会における音楽(08) R ● 舞台芸術への招待(11) TV ● 考古学(09) TV ● 日本古代中世史(11) TV ● 日本の近世(07) R ● 北東アジアの歴史と朝鮮半島(09) R ● 中国社会の歴史的展開(07) R ● ヨーロッパの歴史と文化(10) TV ● アメリカの歴史と文化(08) TV ● イスラム世界の歴史的展開(11) TV ● 日本語基礎A(06) TV ● 日本語基礎B(07) R ● 日本の古典—古代編(09) R ● 和歌の心と情景(10) TV ● 日本文学の読み方(09) R ● 文化人類学(08) TV | <ul style="list-style-type: none"> ● グローバリゼーションの人類学(11) TV ● 博物館教育論(12) R ● 博物館資料論(12) TV ● 博物館資料保存論(12) TV ● 博物館展示論(12) TV ● 博物館経営・情報論(08) R ● コンピュータのしくみ(08) TV ● 情報ネットワークとセキュリティ(10) R ● ネットワークとサービス(12) TV ● 西洋政治理論の伝統(09) R ● 情報機器利用者の調査法(12) TV ● 映像メディアとCGの基礎(12) TV ● デジタル情報の処理と認識(12) TV <p>● 自然と環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 分子生物学(09) TV ● 生物界の変遷(11) TV ● 植物の科学(09) TV ● 動物の科学(09) TV ● 現代物理(08) R ● 力と運動の物理(09) TV ● 熱と温度(08) TV ● 量子物理(09) TV ● 量子化学(09) TV ● 分子の科学(10) R ● 進化する宇宙(11) TV ● 太陽系の科学(10) TV ● 地球のダイナミクス(10) TV ● 代数の考え方(10) R ● 空間とベクトル(09) TV ● 微分方程式への誘い(11) TV ● 統計学(09) R <p>● 総合科目</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 変動する社会と暮らし(07) R ● 国際共生に向けた健康への挑戦(08) TV ● 社会福祉と権利擁護(12) R ● 格差社会と新自由主義(11) TV ● 消費者と証券投資(11) TV ● 途上国の開発(07) TV ● 世界の中の日本(09) TV ● Political Economy of Japan(10) TV ● 進化する情報社会(11) TV ● 地球的課題と法(10) R ● 観光の新しい潮流と地域(11) TV ● 環境と社会(09) R ● エネルギーと社会(11) TV ● 日本のマスメディア(07) R ● 社会の中の芸術(10) TV ● 社会の中の科学(08) R ● 数理ファイナンス(08) TV ● 技術革新を支える物質の科学(08) TV ● バイオサイエンスで豊か暮らし(08) TV |

放送大学はテレビとラジオで授業を行う正規の大学です。

放送授業の視聴方法

放送授業は下記の方法で視聴することができます。

- **放送で**
週1回45分授業が15回放送となります。
(放送時間は、冊子「放送大学授業科目案内」又は放送大学ホームページ(<http://www.ouj.ac.jp/>)でご確認ください。)

BSデジタル放送
全国で無料放送されています。
テレビ 231ch ラジオ 531ch

CATV(ケーブルテレビ)
放送大学の番組を放送しているCATV局に加入されますと、アンテナやチューナーをご用意いただくなくても視聴できます。視聴方法等については、お近くのCATV局にお問い合わせください。

地上放送(関東の一部エリア)
関東の一部エリアのみの放送です。
テレビ リモコン番号12(UHF28ch)
ラジオ FM77.1MHz(東京放送局) FM78.8MHz(前橋放送局)

radiko.jp
ラジオ放送をパソコンやスマートフォンで聴くことができます。

- **インターネットで**
全ラジオ科目及びテレビ科目(一部を除く)でインターネット配信を行っています。
インターネット配信科目は放送大学の学生用webページから、1科目15回分が24時間どの回からでも視聴可能です。
(配信科目については、左記「平成24年度放送大学開設授業科目一覧」または放送大学ホームページ(<http://www.ouj.ac.jp/>)でご確認ください。)

授業科目の80%以上がインターネット配信に対応しています!!

- **学習センター・サテライトスペース(全国57か所)で**
放送大学には、全国に57の大学施設があり、放送授業のDVD・CD等を配架しています。土曜・日曜も含め自由に利用が可能です。(月曜・祝日・年末年始は休)
(詳細は、放送大学ホームページ(<http://www.ouj.ac.jp/>)でご確認ください。)

- **所属大学で**
放送授業のDVD・CD等の貸出制度を利用して、所属大学等で視聴することも可能です。
(詳細は所属大学等の事務局にお問い合わせ下さい。)